

## 検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、この度、下記項目につきまして検査内容を変更させていただきますので、取り急ぎご案内する次第です。

誠に勝手ではございますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

敬具

## 記

### ■検査項目/変更内容

頁	項目 コード	検査項目名	変更箇所	新	旧	備考
42	2291	ヒト癌胎児性 フィブロネクチン	容 器 および 採取方法	容器番号:72 (別掲をご参照下さい。)	容器番号:72	現行試薬販売 中止による後継 試薬および新 採取容器への 変更。

### ■変更期日

- 2015 年 3 月 31 日(火)受付日分より

以上

# ヒト癌胎児性フィブロネクチン


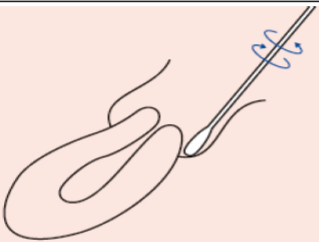
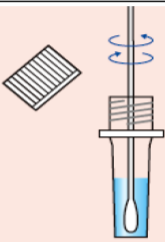
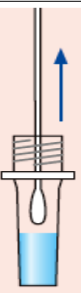

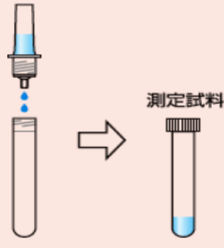
現試薬販売中止に伴い、新試薬に変更いたします。併せて、採取容器および検体採取方法を変更させていただきます。

## ■新旧二法の相関

		現法	
		-	+
新法	-	28	2
	+	1	23

一致率: 94.4% (n=54)  
(SRL検討データ)

## ■新容器形状および採取方法

容器	主な検査項目	保存
72	ヒト癌胎児性フィブロネクチン	凍結
採取方法		
 <p>内容 抽出液 貯蔵方法 室温 有効期間 1年</p>	<p>①</p>  <p>専用綿棒を後腔円蓋に挿入し、約10秒間回して分泌物を吸収させます。 【ご注意】 検体採取時に無理な力がかかると、綿棒が折れる可能性がありますので、十分ご注意ください。</p>	<p>②</p>  <p>検体抽出容器の白色キャップをはずし、分泌液を吸収させた綿棒を浸けて、5回程度綿棒を回します。(この際、容器から液がこぼれないよう注意してください。)</p>
	<p>③</p>  <p>綿棒を検体抽出容器から引き抜きます。</p>	<p>④</p>  <p>検体抽出容器に検体濾過フィルターを取り付けます。</p>
	<p>⑤</p>  <p>検体抽出液の全量を検体保存チューブに滴下し、チューブの蓋を締めて必ず凍結保存してください。</p> <p>測定試料</p>	<p>●注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>検体の採取は膣洗浄前に行ってください。</li> <li>検体中に精液が混入しているときは、その検体は使用しないでください。</li> <li>検体中に0.1%以上の血液混入が認められた場合、正確な結果が得られない可能性があります。</li> </ul>